

PHYSICS

Department of Physics
Tokyo Metropolitan University

理工学研究科物理学専攻 特別セミナー

「ニュートリノ振動の発見」の意義

2015年ノーベル物理学賞は、ニュートリノ振動の発見により、梶田隆章氏とアーサー・B・マクドナルド氏に授与されることとなりました。

授賞理由となったニュートリノ振動について、首都大学東京が取り組む実験の紹介も交えながら、学部学生にも理解できるように、物理学専攻の教員がやさしく解説いたします。

事前申し込みは不要です。ふるってご参加ください。

日時：2015年10月15日（木）17時30分～18時30分

場所：首都大学東京南大沢キャンパス 11号館204室

17時30分～18時10分 安田 修 教授
「2015年ノーベル物理学賞の簡単な解説」

18時10分～18時20分 角野 秀一 准教授
「首都大が取り組む加速器と原子炉を用いたニュートリノ振動実験①：加速器を用いたT2K実験」

18時20分～18時30分 住吉 孝行 教授（本学副学長）
「首都大が取り組む加速器と原子炉を用いたニュートリノ振動実験②：原子炉を用いたDouble Chooz実験」

問い合わせ先：物理学専攻長 堀田貴嗣
Email: hotta@phys.se.tmu.ac.jp